**新中期経営計画(2016-2018年度)
“Growth & Change 2018”
説明会資料**

トピー工業株式会社

前中期経営計画 “Growth & Change 2015” の振り返り

“G&C 2015”の概況と収益目標の達成状況

流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

実行期間

2012 – 2015年度の4年間

方針

グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”

重点テーマ

1. 海外事業の拡充(量的成長)
2. 国内事業基盤の強化(質的変革)
3. 経営の高度化

進捗状況

- ≫ 建設機械・鉱山機械需要が想定を大幅に下回り収益目標は未達成
- ≫ 次の成長への基盤づくりは着実に実行
 - › 自動車・建機部品事業のグローバル供給体制の確立
 - › 鉄鋼事業の新製鋼工場の建設・稼働等
- ≫ 経営環境の変動に伴う事業再建策も迅速に実行
- ≫ 経営の高度化のための諸施策を当初計画どおりに実行

収益目標と実績

前中計目標2015年度		実績 2015年度
売上高	2,815億円	2,159億円
営業利益	180億円	100億円
親会社株主に帰属する当期純利益	100億円	17億円
ROA	7.3%	4.5%
ROE	9.6%	1.7%
営業利益率	6.4%	4.6%
D/Eレシオ	0.66	0.71

中国事業再建に伴う特別損失影響49億円を含む

設備投資の実績

- ≫ 鉄鋼事業の製鋼設備を新鋭化
 - › 314億円
- ≫ 海外での工場建設
 - › インドネシアトラック用ホイール39億円
 - › メキシコ乗用車用ホイール27億円
 - › 中国建機部品30億円 他

海外 (オレンジ) 自動車建機 (水色) 鉄鋼 (紺色) 国内その他 (青色)

営業利益増減要因 (2015年度計画対2015年度実績)

流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

実績状況

建設機械および鉱山機械の急激な需要減少に伴う数量減の影響が大きく、徹底的なコスト削減に加えて、発電事業の新電力契約の開始等の収益改善を進めたが、計画対比80億円の未達

【期間為替】	当初想定	2015年度実績
米ドル	80.0	120.0
中国元	13.0	18.8

コスト改善	直接費	固定費
	+27	+13

(単位:億円)

グローバル供給体制の確立

流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

自動車用ホイール

トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア

- アセアン地域でのトラック用
スチールホイール製造・販売
- 2014年4月操業開始

トピー・エムダブリュ ・マニファクチャリング・メキシコ

- 中南米での乗用車用
スチールホイール製造・販売
- 2015年4月操業開始

建機用足回り部品

トピー履帯（中国）

- 建設機械用部品の
製造・販売
- 2012年12月操業開始

トピー履帯インドネシア

- 建設機械用部品の
輸出入・販売
- 2014年4月操業開始

工業用ファスナー部品

トピーファスナー・ ベトナム

- 2輪車向けファスナー
(板バネ)とプレス製品
の製造・販売
- 2012年12月操業開始

製鋼設備新鋭化（豊橋製造所）

2015年3月に稼働開始 2016年3月に当初計画を達成

投資目的

- » 地震・津波対策によるサプライチェーン維持
- » 圧倒的に低い電力原単位の実現
- » 鉄源の自給化によるコスト競争力強化

鉄源の自給化

- » **100%自給化を達成**

サプライチェーンの維持

- » **電気室高さ T.P.+5.0m**
- » **フロア高さ T.P.+3.75m**
- » **南海トラフ地震に備えた耐震設計**
 - » 2012年8月に設計（想定外を見込んだ対策を実施）
- » **被害想定** 豊橋市「南海トラフ地震被害予測調査」（2014年8月28日）
 - » 南海トラフ地震 想定値震度6強
 - » 津波想定 T.P.+2.7m

電力コストの削減

電力コスト指数

新中期経営計画 “Growth & Change 2018” について

» 鉄鋼事業

- › 中国の過剰生産による輸出増加のため国際市況は弱含み
- › 東南アジアは中期的にはインフラ投資関連需要微増
- › 国内は東京五輪関連需要等で当面は堅調

» 自動車部品事業

- › 中国の乗用車生産は増加傾向も増加率は鈍化
- › 東南アジアは中期的に経済活性化が期待され成長基調
- › 米州での自動車生産は堅調を維持
- › 国内自動車生産は徐々に減少

» 産業機械部品事業（建機用足回り部品）

- › 中国・東南アジアは景気刺激策等により緩やかに回復
- › 国内需要は横ばい

2021年トピー創立100周年に向けてのビジョン それぞれの分野で『世界のリーディングカンパニー』に！

方針

持続的な成長と
働きがいのある会社への変革
- ROE 5%以上を達成 -

重点テーマ

1. 事業の持続的成長
2. 社会からの信頼と共感
3. 企業基盤の強化

2018年度数値目標

売上高	2,500億円
営業利益	140億円
親会社株主に帰属する当期純利益	85億円
ROA	6.1%
ROE	7.7%
営業利益率	5.6%
D/Eレシオ	0.6

営業利益増減要因 (2015年度実績対2018年度計画)

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

計画状況

» 自動車用ホイールおよび工業用ファスナーの販売拡大等で、2015年度実績対比40億円の増益を計画

2018年度為替前提
米ドル 110.0円
中国元 17.0円

(単位:億円)

キャッシュ・フローの配分

流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

新中計3カ年(2016-2018年)のキャッシュ・フロー

» 営業キャッシュ・フローから投資キャッシュ・フローを控除したフリー・キャッシュ・フローの配分については、資金および資本構成を考慮の上、バランス良く配分する

事業の持続的成長

- » グローバルでのプレゼンス向上と事業拡大
 - › 自動車用ホイール
世界自動車市場での製品供給体制を深化させ販売拡大
 - › 建機用足回り部品
国内外の拠点を拡充し、グローバルTOPメーカーを目指す
 - › 工業用ファスナー
最適な生産拠点から成長市場への供給を拡大
- » 独自技術を生かした製品群の拡充
 - › 鉄鋼事業
異形鋼技術・加工技術で時代のニーズに合った製品開発
- » 技術的イノベーションによる新事業への挑戦
 - › ロボット事業
革新的クローラー技術で実用ロボットNo.1を目指す
 - › 合成マイカ事業
独自技術で高品質合成マイカNo.1を目指す

社会からの信頼と共感

- » リスクマネジメントの推進
- » コーポレートガバナンスの強化
- » 株主還元の充実
 - › 配当性向は30~35%
 - › 機動的な自己株式取得

企業基盤の強化

- » 基幹業務システム刷新による業務基盤強化
- » 『働きがい向上委員会』活動の推進
 - › 中堅・若手スタッフの能力を最大限に活用
 - › 働きがいのある会社づくりを地道に着実に推進
- » 企業風土ならびに意識と行動の改革
 - › 事業環境変化への柔軟な適応
 - › 「今までどおりの仕事を続けていれば何とかなる」という従来意識の変革

グローバルでのプレゼンス向上と事業の拡大①

流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

自動車用スチールホイール

世界自動車市場での製品供給体制を深化させ販売拡大！

- 世界7極マーケットでの販売拡大による事業成長
- 欧州MW社への出資比率を現行2.5%から14%へ引き上げ
- 米国、メキシコ有能力増強
- 製品最適供給によるグローバルプレゼンスの向上
- 販売強化によるグローバルシェアNo.1の獲得

工業用ファスナー

最適な生産拠点から成長市場への供給を拡大！

- ▶ 北米・中南米市場をターゲットにメキシコ拠点新設
- ▶ ベトナム工場の生産能力増強
- ▶ 国内外拠点を活用した機動的な生産体制を構築
- ▶ グローバルでの販売拡大
- ▶ 顧客満足度向上 (コスト・品質・デリバリー)

建機用足回り部品

国内外の拠点を拡充しグローバルTOPメーカーを目指す！

- ▶ 海外拠点の拡充によるグローバルでの最適生産体制の構築
- ▶ 国内拠点のマザー工場機能（製品開発・生産技術他）の強化
- ▶ 新市場、新規顧客への拡販
- ▶ 顧客満足度向上（コスト・品質・デリバリー）

独自技術を生かした製品群の拡充

流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

鉄鋼事業

異形形鋼技術・加工技術で時代のニーズにあった製品開発

2000 - 2015年

G&C 2018
2016 - 2018年

社内材(履板、SGOR等)

加工部門と連携して多様な製品を開発

フォークリフト用マストレール

02年に初サイズを開発

02年 加工工場新設
05,11,14年 加工設備増強
→品質管理、デリバリーを武器に増産を実現

15年
海外メーカーから初受注

グローバルで新規顧客を開拓

レール、貨車用フレーム等

リニア用レール (02年)
愛知万博のリニモで採用

貨車用フレーム北米貨車メーカーと共同開発 (03年、07年)

送水管用継手材
リビアのPjに納入 (05年)

グローバルでインフラ、輸送用機器の需要を補足

トンネル用セグメント部材

02年に初サイズを開発し加工工場を新設
→二次加工により建設工期短縮ニーズに貢献

15年
増産に対応するため加工工場を増設

異形形鋼技術をベースに加工事業を強化

ロボット事業

革新的クローラー技術で実用ロボットNo.1を目指す！

- ▶ 建機用部品事業と設備設計の経験を活かした小型軽量ロボット開発
- ▶ 原子炉建屋や海洋など、特殊環境下向けのクローラー開発とその運用実績を通じた各方面からの高い評価
- ▶ 拡大するサービス・農業分野への進出
- ▶ 革新的移動機構の実用化

実績に基づく信頼と、経験に基づく対応力で新分野へ挑戦！

災害対応・メンテナンス

福島第一原発対応

※1

海洋調査

出典：JAMSTEC

※1 平成25年度補正予算廃炉・汚染水対策事業費補助金(原子炉建屋内の遠隔除染技術の開発)により開発したものである(開発：技術研究組合 国際廃炉研究開発機構(IRID))/(株)東芝、写真提供：IRID)

合成マイカ事業

独自技術により合成マイカNo.1企業を目指す！

- ▶ 天然マイカに比べて高純度な合成マイカの製造管理
- ▶ 着色マイカを合成する組成変換技術や酸化鉄などの被覆技術
- ▶ 撥水機能ある表面処理や最適粒子径に調整可能な粉碎技術
- ▶ 純白・透明感あるマイカの合成
- ▶ 低光沢から高光沢まで多彩な色彩実現

独自技術を活かして多様なニーズに対応し、
グローバルでのさらなる用途拡大に挑戦！

化粧品用マイカ

合成マイカ

工業用マイカ

- ・自動車用塗料
- ・ホーロー用意匠性材料
- ・防湿紙
- ・菓子類の包装材
など

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。